

抗議文

2013年8月23日

在本邦アメリカ合衆国大使館
臨時代理大使
カート・トン 閣下

苫小牧市長 岩倉博文

この度、貴国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、本年4月から6月の間に、Zマシンを用いた新型の核性能実験を実施していたとの報道を受けました。

当市は恒久平和の実現に努めるとともに、核兵器のない平和の実現に努力していくことを決意し、2002年に「苫小牧市非核平和都市条例」を施行しており、核兵器の実験等に対する反対の表明も謳っています。

オバマ大統領は、2009年4月にチェコのプラハで核なき世界を目指すと演説され、また、本年6月には、ドイツのベルリンで具体的な核軍縮の方針を明らかにされました。にもかかわらず、貴国が新型の核性能実験を強行したことは、唯一の被爆国として世界平和を願う私どもにとりまして極めて遺憾であり、「苫小牧市非核平和都市条例」を制定しているまちの市長として、市民を代表して貴国に対し強く抗議の意を表するものであります。

また、貴国が今後核軍拡競争につながる核実験を中止し、核兵器廃絶に向け主導的役割を果たすよう重ねて要請いたしますので、本国政府へ伝達されるようお願いいたします。